

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策事業		路河川名等	竹之下				
事業毎の通番		1	市町村名	東筑摩郡筑北村	箇所名(ふりがな)	竹之下(たけのした)			
事業概要	事業目的	当箇所は東筑摩郡筑北村(日本城村)に位置し、勾配35°～44°、かけ高さ52mの急斜面で、保全対象として人家11戸等が存在する。斜面上部には岩塊があり、風化による浸食も進んでいることから不安定となっており、更なる崩壊の危険性が高い。このため早急に対策を講じ民生の安定を図るものである。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	急傾斜地法				
	関連する事業、計画等								
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	人家11戸、伝統文化等伝承保存施設、県道180m、村道等							
	着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	2.5	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	崩壊土砂防止柵工 L=290m			300,000	142,500	15,000	128,250	14,250
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	土砂災害特別警戒区域の解除							
	間接的効果(定量的・定性的)								
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人家戸数:11戸</li> <li>○公共施設:県道、村道</li> <li>○要配慮者利用施設:なし</li> <li>○避難場所・避難路:伝統文化等伝承保存施設</li> </ul>						評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○過去の災害履歴:H28.10落石</li> <li>○交通遮断による地域経済への影響:大</li> <li>○地域防災計画上の位置付け:県および市町村両方に位置づけあり</li> </ul>						評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果(B/C):2.48</li> <li>○事業期間:5年間(H30～34)</li> <li>○工法検討:検討なし</li> </ul>						評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○斜面の高さ:平均36m</li> <li>○被覆:不良</li> <li>○斜面平均勾配:38°</li> <li>○保全対象の位置:がけ下11戸</li> <li>○地質:強風化泥岩</li> <li>○斜面形状:遷急線あり</li> </ul>						評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業情報の共有:関係者を中心に周知</li> <li>○地元要望:協力的である</li> <li>○地域合意</li> </ul>						評価	B
	所管課意見	地域防災計画に記載された避難所が特別警戒区域に含まれる。近隣に避難所の移転適地がなく、施設整備の重要性及び緊急性が高い。				採択状況	総合評価		
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。				○	A			

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)

(どこでどのような整備をする計画か。コメントや図形を駆使して一般県民にわかりやすいものとする。レイアウト等自由に変更してください。)

位置図



平面図



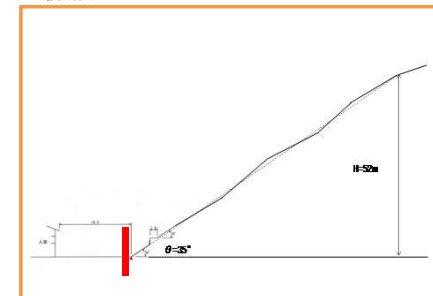
事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】

落石状況



横断面



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	未対策がけ下に11戸の民家があり、うち2件は特別警戒区域内であることから、筑北村より対策要望を受ける。平成28年10月5日頃、斜面から落石あり
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成28年度筑北村より要望あり。(H28.3)
③事業説明等の経緯	平成26年12月土砂災害防止法指定
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮についての検討の予定。
⑥地域活性化への影響と配慮	地域住民は対策に関しての関心が高いため、避難体制の整備及び施設の維持管理について、今後地元説明会等で積極的な関与を促したい。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度  
北緯:N 138° 01' 09" 00  
東経:E 36° 24' 08" 00